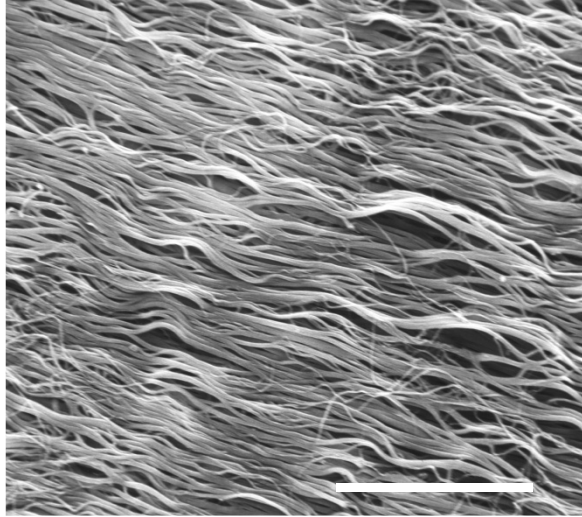
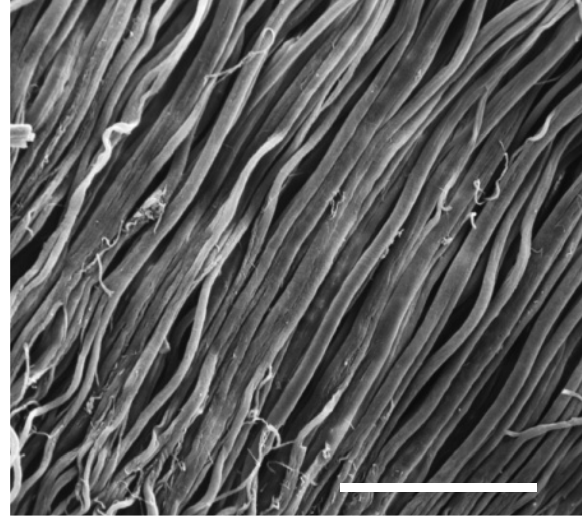


(a)



動脈 (中膜)

(b)



靱帯 (項)

図2 弾性組織中の弾性線維構造 [(a) 動脈、(b) 靱帯]  
スケールバー (a)  $45\ \mu\text{m}$ , (b)  $100\ \mu\text{m}$

ブタ大動脈中膜およびウシ項靱帯をギ酸処理して弾性線維のみにした試料を、走査型電子顕微鏡(SEM)で観察した。動脈および靱帯とも弾性線維が高い配向性を有する構造をとる。線維径は動脈で $1.36\pm 0.2\ \mu\text{m}$ および靱帯では $6.27\pm 1.68\ \mu\text{m}$ 。動脈の線維の方向は血管の円周方向と同一で、血圧による伸長を引っ張り戻す役目がある。靱帯の線維方向は骨と接合する方向と同一で関節の動きに対応する張力を有する。